

# 電子化率50%を達成

利用者、関係者に感謝

## 中川環境大臣に報告

### JWセンター

(公財)日本産業廃棄物処理振興センター(関荘一郎理事長、以下、JWセンター)は、第三次循環型社会形成推進基本計画(2013年5月策定)での目標「2016年度の電子マニフェスト利用割合50%」を達成した。直近1年間の電子マニフェスト年間登録件数は2512万5000件(16年10月～17年9月)で電子化率は50

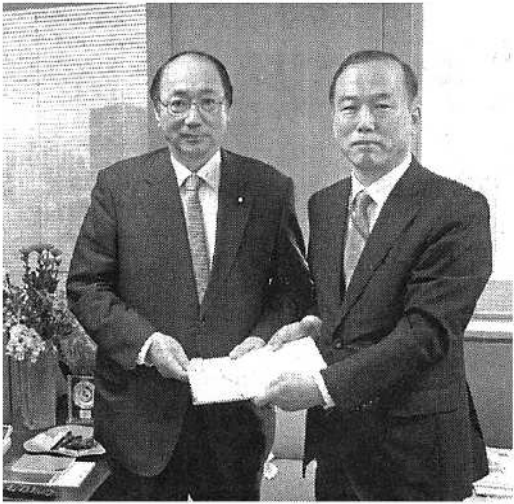
処理や循環型社会の形成に重要な役割を果たしている」と強調。「(電子化率が)待望の50%を超えたが、今後とも、さらなる普及とビッグデータとしての有効な活用に取り組んでいた

入料無料などのキャンペーンも積極的に展開。近年、年間登録件数は順調に増え続け、電子化率は4割を堅調に維持していた。今回の目標達成は、これまでの取り組みが大きく実ったものといえる。

%。9月度電子マニフェスト年間登録件数は223万3000件(前年同月202万4000件、前年同月比10・3%増)となった。10月17日、同センターの理事長が環境省を訪ね、中川環境大臣、森本環境事務次官、縄田環境再生・資源循環局長に電子化率50%達成を報告した。中川大臣は「電子マニフェストは産業廃棄物の適正

だきたい」と意願、期待を寄せた。

同センターはこれまで、電子マニフェストの普及拡大を強く推進してきた。全国で実務研修会や操作体験セミナーの開催をはじめ加



中川大臣(右)に報告する関理事長(左)